

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら横浜いずみ教室		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 1日 ～ R7年10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年 9月 1日 ～ R7年10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室が広く、死角がなく活動スペースが十分に確保できている。	お子さんがどこにいても、職員の目が届く。 活動時に机の配置を変えたりして、集団遊びや制作活動をのびのびおこなえるようにしています。	今後も活動内容を工夫し、空間を有効に使えるよう取り組んでいきます。
2	同法人の介護施設や事業所があるため、合同イベントや合同研修を行っている。	事業所間での交流を通して、子ども達に新しいお友達と触れ合い、さまざまな活動を経験する機会がある。 職員同士の情報共有や研修により、支援の質の向上にもつなげています。	今後も同法人の他事業所との連携を深め、合同イベントや研修を継続的に実施していきます。 子ども達が、さまざまな環境、お友達と関わることで多様な経験が得られる環境作りを進める。
3	お子さんに寄り添った支援	自信のないお子さんが多いのでほめる支援を心掛けている。	自立支援のため、できることは自分でやってみようという心を引き出していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の情報共有の強化	朝礼、終礼での報告を行っているが、非常勤職員などお休みが続くと難しくなってしまう。 連絡ノートの記録する習慣が定着していなかった。 職員間の情報共有が口頭中心になりやすかった。	情報共有の方法の見直し、職員一人一人が意識して情報を収集するように努めていく。 連絡ノートを見やすい所に置き、いつでも確認だけでなく、回覧を行う。 口頭で伝えるだけでなく、変更、気づきなど連絡ノートに記録する。
2	保護者同士の交流が少ない	多忙な保護者が多い	事業所内で保護者向け研修があっても来てくださる方は毎回同じ方なので、違う方にも来ていただけるように工夫が必要
3	職員全員の共通認識	常勤・非常勤の間でコミュニケーションがとれているようで上手に取れていないことが、自己評価でわかりました。	職員全員に共通の認識と確認と共有ができるように工夫をしていく。